先輩からのメッセージ

慣れない土地での生活、高い日本語の壁、そして独特な日本の就職活動。それらを一つひとつ乗り越え、いま広島の企業で「架け橋」として一歩を踏み出した先輩がいます。ベトナム出身で広島女学院大学を卒業したグエンさんです。
彼女の言葉には、これから就活に挑む皆さんに今すぐ知っておいてほしい「等身大のヒント」が詰まっていました。

※本インタビューは令和8年4月に実施したものです。記載内容は当時の情報に基づいています。

「大好きになった広島で、恩返しを」 日本語と勇気で道を切り拓いたグエンさんの物語

――「広島が大好き」と語るグエンさん。まずは、日本、そして広島との出会いから教えてください。

きっかけは日本の漫画でした。でも、本格的に留学を意識したのは、日本語学校の先生との出会いなんです。その女性の先生が本当に素敵で、「先生のような人がいる日本で学びたい！」と決意しました。

広島に来て、IGLや広島女学院大学で過ごした日々は宝物です。特に広島の「人」の温かさには何度も助けられました。アルバイト先の店長が忙しい合間に日本語の練習に付き合ってくれたり、工場のバイトでは地域のおじいちゃんやおばあちゃんが「きつめの広島弁」で話しかけてくれたり（笑）。そのおかげで、今ではディープな広島弁も完璧に聞き取れるようになりました！

――広島での就活を決めたのは、その「人の温かさ」があったからこそ？

そうですね。ベトナム料理店でのバイトは夜11時まで及ぶこともあり、体力的にはハードでした。でも、そこは私にとって最高の「生きた日本語の教室」だったんです。お世話になった広島の人たちに、仕事を通じて恩返しがしたい。その一心で、広島での就職を探し始めました。



アルバイト先の日本人の友人とのベトナム旅行

――就活は順風満帆でしたか？ 後輩たちが一番知りたい「備え」について教えてください。

実は私、4年生の時に一度「起業」を目指したことがあって、就職活動への切り替えが少し遅くなってしまったんです。焦りもありましたが、救ってくれたのは「早めの準備」でした。**2年生の時から、**「広島県留学生活躍支援センター」のセミナーに参加したり、大学のキャリアセンターに通ったりしていたんです。そこで得た面接のノウハウやエントリーシートの書き方が、遅れたスタートを補ってくれました。日本の就活ルールは独特ですが、プロに相談して「知っておく」だけで、不安は自信に変わります。


広島留学大使メンバー

――実際に社会人として働き始めて、いま感じていることは何でしょう。

現在は、社内のベトナム人従業員の通訳や相談窓口、全体の取りまとめを任されています。研修の一環で、先日は高知県まで日帰り出張するなど、アクティブに動く毎日です。

現場に出て痛感しているのは、「日本語能力をもっと、もっと磨いておけばよかった！」ということ。学生時代はスピーチコンテストに出るなど頑張ったつもりでしたが、ビジネスの現場はもっと深いです。名刺交換などのマナーも、いまだにドキドキしながら練習しています（笑）。



グエン さん（ベトナム出身）
2026年3月 大学卒業。
GAグループ株式会社 阪神金属協同組合勤務。
ベトナム人技能実習生の通訳・サポートを担当。具体的には、会社や寮への送迎、日本での生活指導、各行政機関での手続き案内、そして実習生と会社の間をつなぐ橋渡し役。
好きな言葉・座右の銘：「自ら行動すれば何かが変わる」

――最後に、夢を追いかける後輩たちへ、愛のこもったメッセージをお願いします。

一番伝えたいのは、「迷ったら、一人で抱え込まないこと」です。大学のキャリアセンターや、支援センターのイベントにどんどん顔を出してみてください。そこでの交流や相談が、必ずあなたの留学生活を豊かにし、未来の扉を開く鍵になります。

私の将来の夢は、大好きな母国の果物を日本に広めるビジネスを立ち上げること。今の仕事はそのための大切な修行だと思っています。皆さんも、この広島で一緒に頑張りましょう！


実家のライチ



ベトナム祭り


故郷の景色

ライターの眼 グエンさんから学ぶ、内定への「最短ルート」

彼女の取材を通じて見えてきたのは、「環境を味方につける上手さ」です。一人で頑張るのではなく、プロの力を借り、地域のコミュニティに飛び込んでいく。その一歩が、彼女を「広島に欠かせない人材」へと成長させたのだと感じました。

グエンさん直伝！ 後輩へ贈る3か条

❶ 日本語は裏切らない
現場での信頼関係は言葉から。学生のうちに、限界を決めずブラッシュアップを！

❷ 支援センターを自分の居場所にする
2年生からでも早すぎることはありません。プロのアドバイスを「使い倒す」勇気を。

❸ 日本のルールを“武器”に変える
名刺交換やマナーは、知っていれば怖くない。早めに知識をインプットして、心の余裕を持ちましょう。